

これより質疑に入ります。  
順次発言を許します。  
山崎貞一議員。

○12番(山崎貞一君) 4月25日に執行されました、この工事案件につきまして、官製談合の疑いがあるという新聞社への投稿があり、そして時間が大幅におくれて執行されたようですが、この経緯についてご説明をお願いします。

○議長(鈴木克征君) 企画財政課長。

○企画財政課長(林新一君) ただいまのご質問でございますが、まず官製談合というお話がございましたが、そのような情報ではございませんでした。単なる談合でございます。談合情報でございます。この情報につきましては、当日4月25日の11時に私のところに新聞社から、入札に参加するであろう業者、それから、落札の業者、落札されるであろう金額について匿名の方から電話があったという情報が寄せられました。

したがって、同日11時30分に横芝光町談合情報対応マニュアルに基づきまして、横芝光町公正入札調査委員会を開催いたしました。その中で、この談合情報についてどう取り扱うかという検討したわけでございます。この談合マニュアルによりますと、談合マニュアル第2の1の(1)というのがございます。その中でも規定を読み上げますと、アとイがありまして、アは、情報提供者の氏名、連絡先、件名、落札予定者が明らかである場合ということでありまして、これには匿名でございましたので当たらないというのが1点でございます。

このイでございますが、情報提供者が匿名であっても直接発注機関に通報する者の氏名、件名及び落札予定業者が明らかであり、かつ次に掲げるいずれかの情報が含まれる場合というのがございます。この場合、新聞社、これは朝日新聞でございますが、その出どころははっきりしておりました。ただ、その次のいずれかに情報が含まれるという部分につきましては、談合に關与した業者名が明らかであることというのに該当するか否かというのが1点目でございます。と申しますのは、寄せられた情報とは一部業者名が違いました。というのが1点ございました。それから、この条件の中には設計金額に極めて近い落札予定額を示していることというような条項があるのですが、これにつきましても予定価格は入札前、入札会場に入る前に決定いたしますので、予定価格はまだその時点で決まっておられません。したがって、予定価格に極めて近いかどうかという判断も非常に微妙でございました。しかしながら、多分落札するであろう、できる金額であろうということは予測がつかしましたので、この委員会の中では

疑わしきは調査しようという結論に達しました。したがって、同日の午後からこれに参加する5つの業者でございますが、それぞれ来ていただきまして事情聴取を行ったところであります。その事情聴取の結果、特に談合の状況は認められないという状況でございましたので、入札の執行に当たりましてはそのような事実はないということと、もし後日これが発覚した場合には契約を破棄されても異議がないという旨の誓約書を提出させた上で入札を執行しようということになったわけでございます。

ただし、町長は所用がございまして出張しておりましたので、入札の時間は午後5時に予定いたしましたところでございます。しかしながら、町長の帰庁が遅くなりましたので、実際に入札が執行されたのは午後5時45分でございます。結果は、先ほど議案の説明で申し上げたとおりでございます。以上でございます。

○議長(鈴木克征君) 山崎貞一議員。

○12番(山崎貞一君) その入札の予定価格ですけども、今、伺いましたら、入札の執行の直前という話ですね。これだとそういう漏れるというか、そういうのはまずないだろうということを思います。

その前に、先ほど私の文言に対しまして失礼がありましたので、おわびしたいと思います。

官製談合ということではなくて談合ということですので、おわびして訂正させていただきます。

私が言いたいのは、いわゆるこのような情報がこの町ではなくてもほかでもあるということ、そういうことが入札制度に対して疑念そのものが生まれるということにどういう対策をこれからとっていくのかということと、それから、入札の予定価格、先ほど町長がいらっしゃらなければ、じゃ、どの段階で今回のこの入札の予定価格決められたのか。また、それはどういう方々が加わってこれを決めていられるのか、その辺について伺います。

○議長(鈴木克征君) 企画財政課長。

○企画財政課長(林新一君) 事後公表の予定価格は直前決定で統一されておりますので、町長が5時40分ですか、帰庁されまして、その後、町長室のほうで私と担当課長でございます教育課長、それから、財政課の担当班長と担当者のもとで予定価格を決定しております。

また、この入札制度の公明性でございますけれども、私どもとしては受注希望型入札ということであれば、指名競争入札というのはだれが入札参加するというのはわかってしまうわけなんですけれども、受注希望型は大前提はどなたが手を挙げているかわからないというふうなことで考えておりました。

しかしながら、ほとんど、一部業者は違いましたけれども、ほとんど合っていたということについては、少し重きを置いて今後の対策を考えていきたいというふうに思います。

○議長(鈴木克征君) 山崎貞一議員。

○12番(山崎貞一君) 先ほど入札の当初の執行される時間、これは当日の午後何時だったのか、それから、まだいいです。3回目ですので、もう少し質問させていただきます。その時間は町長がさらにおくられて5時過ぎに帰ってきて、それで決めたという話なのですが、その時間のずれがちょっと私よくわからないです。それをちょっと教えていただきたいというのと、それともう一つ、この入札の談合問題につきましては、既に先進自治体といいたいまいしょうか、そういうところが予定価格、それで最低入札価格というものを事前に交渉しまして、くじ引きでやっているという、要するに、公明公正という、そういうのがとられている自治体がございます、それはご存じだと思うんですが、ですから、こういうことをまずこの町でできるということじゃないかと思えます。ですから、どういう対策が必要かというのは、例えばですけれども、この近隣市町の入札のそういう事業、入札執行に当たっての協定書みたいなものを交わして、ですから、隣の市から業者が加わって受注できるような、こういう体制さえとれば、いわゆる談合というのは解消されるのではないかなと、そのように思いますし、また電子入札ということをよく言われますけれども、電子入札も1回や2回はいいのですが、それ以上長くなりますと当然談合の疑いが出てくるわけですね。だれがとったのか、データが残り出ますからね、そういうのを含めまして、今後の対策についてどのようにお考えになっているのか伺います。

○議長(鈴木克征君) 企画財政課長。

○企画財政課長(林新一君) まず、当日の入札の予定時間ですが、午後1時40分の予定でございました。

あと、町長が1時40分であれば在庁しておったわけなのですが、その後、出張の予定がございましたので、午後からその事情聴取を行うと、公表を行うということになりますと、町長が在庁の時間にはとても実施できないということから、帰庁できるだろう午後5時という設定を事務のほうとしてはさせていただきました。

あと、その内容的に町長がおくれたのはその会場の状況はちょっとわかりませんので、町長のほうからまた答弁があればと思います。

それから、その入札の状況でございますけれども、実はこの事後公表は昨年の8月だったと思えます、

始めたのは。それまで山崎議員がおっしゃるように事前公表でやっていたわけですが、当町も。それにもやはりいろいろな不都合があるのではないのか、それから、一部は事後公表にしてはどうかということ、国の指導もございまして、そのような説明をさせていただいたと思うんですけども、そのようなことできょうになっております。

今回のこの受注希望型入札の条件でございますけれども、地域的には横芝光町に本店または入札、契約等の権限を委任された支店等を有すること、または山武土木事務所管内、匝瑳市、芝山町及び多古町に本店を有することとしておりまして、山武管内といえますと大網まで入るわけでございますけれども、広くは募集しております。ただ、手を挙げた方がいらっしやらなかったということございまして、また詳細につきましては、役場にはこれ以上、捜査権がございませぬので事情聴取までしか実際問題できないという状況でございます。

あと、このような事態が生じた場合には公正取引委員会のほうに報告するということになっておりますので、そちらのほうで何かまた動きがあれば、それに対してしっかり対応していきたいというふうに思っております。

○議長(鈴木克征君) 町長。

○町長(齊藤隆君) ただいまの山崎議員のご質問にお答えします。

今、企画財政課長からの話ございましたように、当初予定では1時40分から入札を行う予定でいました。その10分前に、先ほどもあったように予定価格を入れ、1時40分に入札を行い、その後、旭市長、匝瑳市長さんと講演をする場がありましたので、そちらに行きました。通常であれば、この入札が終わってからそちらの次の会合へ行くようにということで、そちらのほうの時間をずらして考えておったんですけども、当然旭市、匝瑳市とも今回のこの災害に関するものが非常に話として多く出まして、5時には帰ってきたいという、当初の予定では5時には帰ってきたいということであったんですけども、それぞれが、例えば旭市さんであれば飯岡地区の津波の被害、また匝瑳市さんであれば液状化であるとか、住宅の一部損壊など、いろいろな話が出、また今後の対応について足並みをそろえられる部分があればというような話があったために、当初予定していた時間よりか延びてしまい、5時40分、帰ってきてすぐに入札の予定価格を入れ、そのまま入札を行ったという、そういう流れになっております。

《この質疑応答の文言は議事録を抜粋して編集してあります。》